

平成30年度 野辺地高等学校 自己評価資料【職員アンケート】 28名提出

以下の項目について、
 (4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 どちらかというそうは思わない 1 そうは思わない) のいずれかの数字を記入してください。なお、2や1の評価をした項目について、その理由や改善策を下の備考欄に自由に記述してください。

項目	番号	観 点	評 価 規 準	各評価をした人数				30年度 評価平均値	29年度 評価平均値
				4	3	2	1		
1 教育目標・経営方針・学校課題等	1.1	教育目標・学校課題	教育目標（重点目標）は学校の実態に即し、達成のために教職員が意欲的かつ具体的な取組を行っている。	14	11	3	0	3.39	3.27
	1.2	経営方針	学校経営方針に基づき、教職員の協力により円滑な学校運営がなされている。	13	14	1	0	3.43	3.30
	1.3	特色ある学校づくり	学校及び学科・コースの特色が明確になっている。	13	12	3	0	3.36	3.24
2 組織運営	2.1	校務分掌編成	分掌組織は、学校の実態に基づいて編成され組織的に機能し、分掌間の協力体制が図られている。	9	17	2	0	3.25	3.15
	2.2	分掌の活動	各分掌は活動記録・会議録・資料を適切にまとめ、組織的・計画的に評価を行い、改善・充実を図っている。	15	12	1	0	3.50	3.39
	2.3	管理職の指導体制	教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努力している。	15	9	4	0	3.39	3.21
3 事務・経理	3.1	施設整備・充実	施設・設備等は適切に整備・保全し、使用後の管理も適切である。	15	13	0	0	3.54	3.48
	3.2	金銭・物品の管理	金銭の支払いや物品の管理を適正に行っている。	20	8	0	0	3.71	3.70
	3.3	経費節減	経費節減や環境問題等に配慮して、学校全体で省エネルギーに取り組んでいる。	10	15	3	0	3.25	3.27
4 教職員の姿勢・意識	4.1	教職員の服務に対する姿勢・意識	教職員としての自覚と誇りをもち、意欲的に職務に取り組んでいる。	15	11	2	0	3.46	3.45
	4.2	生徒の指導に対する姿勢・意識	生徒の人権を重んじ、生徒一人一人の理解を深める努力をしている。	15	11	2	0	3.46	3.39
	4.3	創意工夫・研修意欲	生徒の実態を把握し、個に応じた教科指導を心がけて研修に努め、指導方法に創意工夫をしている。	13	14	1	0	3.43	3.24
5 安全管理・危機管理体制	5.1	安全の確保	生徒の安全を確保するために、設備の点検や生徒への注意喚起を適切に行っている。	17	11	0	0	3.61	3.67
	5.2	緊急時の対応	防災マニュアルが整備され教職員に周知徹底されているとともに、家庭や関係諸機関への連絡体制が確立している。	16	12	0	0	3.57	3.33
6 地域社会との連携・開かれた学校づくり	6.1	中学校等との連携	教育課程及び学校生活の内容等に関して、中学校の生徒や保護者・教職員にわかりやすく示している。	13	13	1	0	3.44	3.27
	6.2	学校評価への取組	学校評価の結果を、教職員や保護者・地域社会に対して公開し、共通理解を図り学校課題への取り組みに生かしている。	15	12	1	0	3.50	3.48
	6.3	説明責任	教育目標や指導方針、具体的な活動について生徒や保護者に説明をしている。	12	13	2	0	3.37	3.39

項目	番号	評価規準	各評価をした人数				30年度 評価平均値	29年度 評価平均値
			4	3	2	1		
7	教務	7.1 授業時数の確保と授業の円滑な運営に努める。	19	9	0	0	3.68	3.70
		7.2 生徒一人一人の可能性を最大限に引き出す教育活動を進める。	13	13	1	0	3.44	3.39
		7.3 生徒個々の進路希望を生かした教育課程の研究及び「総合的な学習の時間」の充実に努める。	10	14	4	0	3.21	3.36
		7.4 校内外における研修の推進に努める。	16	10	2	0	3.50	3.39
		7.5 教務部内の業務に工夫・改善と充実に努める。	12	14	1	0	3.41	3.27
		7.6 図書館の有効活用を図る。	9	16	3	0	3.21	3.18
		7.7 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	10	14	3	0	3.26	
8	生徒指導・環境 厚生	8.1 基本的な生活習慣を確立し、生徒が規律ある学校生活を送ることができるよう、人に迷惑をかけない社会性・道徳性を身につけさせる。	15	13	0	0	3.54	3.38
		8.2 生徒一人ひとりを理解・評価し非行やいじめの未然防止と事後指導に努める。	17	11	0	0	3.61	3.44
		8.3 生徒会活動や部活動の活性化を図り、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し生徒の自己実現的な姿勢を身につけさせる。	15	11	2	0	3.46	3.31
		8.4 環境美化と環境保護の推進をする。	14	13	1	0	3.46	3.41
		8.5 健康管理の徹底をはかる。	15	12	1	0	3.50	3.53
		8.6 保健委員会の活性化を図る。	9	16	3	0	3.21	3.53
		8.7 様々な悩みを抱える生徒の支援のため、相談室の活用を促し、特別支援委員会との連携を強化する。	16	10	2	0	3.50	3.28
		8.8 危機管理マニュアルの共通理解を図る。	13	14	1	0	3.43	3.28
		8.9 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	10	15	2	0	3.30	
9	進路指導	9.1 体験活動や校外での学修を通し、学ぶこと・働くことの意義、役割を理解するキャリア教育を推進する。	13	12	3	0	3.36	3.28
		9.2 自己理解を深め、他者の個性を尊重できるような、コミュニケーション能力を身につける。	15	12	1	0	3.50	3.06
		9.3 将来の生き方や進路の目標を考え、その目標を実現できるように、個々に応じた指導体制を構築する。	14	12	2	0	3.43	3.09
		9.4 教員の指導力向上を目指し、多方面にわたる研修・講演会を企画・案内し、積極的参加を促す。	6	18	4	0	3.07	2.97
		9.5 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	10	14	3	0	3.26	
10	渉外	10.1 P T A 活動の充実と学校諸活動の正確かつ迅速な情報提供。	15	13	0	0	3.54	3.34
		10.2 諸会計予算・支出の適正	19	9	0	0	3.68	3.69
		10.3 P T A 活動・後援会活動・同窓会活動の相互の連携	17	11	0	0	3.61	3.47
		10.4 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	11	14	1	1	3.30	
11	1 学年	11.1 自主的・計画的に学習する態度を身に付けさせる。	11	14	3	0	3.29	3.50
		11.2 基本的な生活習慣を確立し、社会性・道徳性を身に付けさせる。	14	13	0	1	3.43	3.50
		11.3 集団生活を通して、コミュニケーション能力を育成する。	12	13	3	0	3.32	3.41
		11.4 進路希望の確立に向け、適切な進路指導を行う。	17	10	1	0	3.57	3.41
		11.5 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	15	10	2	0	3.48	
12	2 学年	12.1 自主的・計画的に学習する態度を育成する。	13	14	1	0	3.43	3.30
		12.2 基本的な生活習慣を確立させ、社会性・道徳性を育成する。	16	11	1	0	3.54	3.36
		12.3 集団生活において良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を育成する。	16	11	1	0	3.54	3.24
		12.4 進路目標を確立させ、その達成に必要な力を育成する。	12	16	0	0	3.43	3.42
		12.5 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	15	10	2	0	3.48	
13	3 学年	13.1 自主的・計画的に学習する態度を身に付けさせ、学力の向上を図る。	15	10	3	0	3.43	3.28
		13.2 基本的な生活習慣を確立し、社会性や道徳性を身に付けさせる。	16	11	1	0	3.54	3.28
		13.3 最高学年として何事にも意欲的に取り組み、協調して行動できる生徒を育成する。	16	10	2	0	3.50	3.34
		13.4 進路希望の実現に向けて、必要な力を身に付けさせる。	13	13	2	0	3.39	3.25
		13.5 業務量の見直しを行い、業務の要・不要（代替の可能性）を意識している	15	10	2	0	3.48	